

## 「濁水対策」について

### 1. 土地改良事業と濁水発生の現状

過去に国営・道営事業等の土地改良事業で行った農地造成・区画整理などの耕地の表土が強雨により流失したとしても、直ちに流失対策を講じることは難しいが、次のような点に配慮した土地改良事業を実施している。

- ・切盛に伴う造成勾配：造成勾配は5度以下を基準とする。
- ・盛土の法面：堤防形式にし、表面水は集めて排水する。
- ・火山灰の土取場：客土用土取場には、火山灰の流失防止のため、沈砂池を設置する。
- ・取付道路からの雨水流出：耕作道並び林内への作業道などの取付部分には水切を設ける。

### 2. 排水路等の維持管理面からの対策

平成19年度からスタートした「農地・水・環境保全向上対策」は地域ごとに構成する「活動組織」が事業主体となり農業振興地域内の農地・農道・排水路などを対象に地域資源の維持保全を目的とした活動である。

本事業は北見自治区・端野自治区・常呂自治区・留辺蘂自治区に17活動組織があり、5カ年間を事業期間として活動組織が農用地法面の初期補修・排水路の土砂上げ・水路法面の初期補修・農道側溝の土砂上げ・法面の補修などを行うことで土砂などの流失防止策を担っている。

### 3. 耕種農家の堆肥置き場の調査について

河川等周辺環境へ十分配慮するため、耕種農家の堆肥置き場の状況を年に1回調査し、不十分な場合は指導を行う。

■道路・河川管理上の濁水防止策

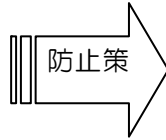
- 道路～郊外地の砂利道が特に土砂流出が多い為、路面の水切りをこまめに実施する。
- 河川～農地等からの土砂流入が多い為、農地・水環境保全向上対策事業と連携し堆積土砂の除去の対策を図る。

【 事 例 】

①砂利道土砂流出状況



②砂利道路面のこまめな水切り実施による流出防止策



※適所に水切りすることで、水力を分散させ土砂流失の軽減を図る

③畑地からの土砂流出応急防止策（土のう）



④畑地からの土砂流出状況



⑤畑地から道路へ流出状況



⑥ ⑤の原因による道路路体が流出



⑦ ⑥と同



⑧山林伐採作業状況

